

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 12月 24日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901472		
法人名	有限会社 バリーツウドゥ		
事業所名	グループホームプランタンII		
所在地	旭川市東旭川北1条4丁目15-26 (電話) 0166-36-6608		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年12月18日	評価確定日	平成20年1月31日

【情報提供票より】(平成19年10月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 12月 26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤10人, 非常勤9人, 常勤換算7.68人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	3階建ての	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(0円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(0円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費		円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200円

(4) 利用者の概要(12月18日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	7名	要介護4	5名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85.3歳	最低	66歳	最高	100歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科、林歯科、旭川ファーストクリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは全国的に有名になった「旭山動物園」に通じる幹線道路に面し、夏場は特に車や観光バスが行き交い、賑やかで日常の動きを感じ取ることのできる施設となっています。近隣には商店やスーパーも多数あり、利便性の高い恵まれた環境となっています。同系列で運営されている8グループホームの2番目に立ち上げられた施設で、隣接された場所には小規模多機能施設、高齢者住宅もあり、理事長の高齢化社会に向けた熱い想いが伝わってきます。管理者は屋外行事を積極的に取り入れ、外出については自らバスの運転に係わり多くの利用者が参加できる機会を設けています。職員も理念に即したケアのあり方について深く考える努力がなされており、日々振り返りの姿勢で研鑽されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価で指摘されている運営理念の構築、家庭的な生活環境作り、日常生活行為の支援、医療健康、運営体制、家族・地域との交流については積極的に改善の努力が図られている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員ともに評価の意義を十分に理解しており、今回の評価については管理者、主任で自己評価を取りまとめ、その後職員に報告し意見の提出の形で取り組まれています。今回の外部評価時にも積極的に意見が出され、今後の取り組みに期待するところです。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	家族代表、町内会長、協力病院関係者、事業所職員を構成員として2ヵ月に1度運営推進会議を開催しています。会議では事業所の案内、事業状況、行事实施状況の報告がなされ、活発な意見交換が行なわれ事業所のサービス向上に活かされています。地域密着型として今後さらに地域との連携、構築が図られることを期待します。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	「意見箱」により気軽に声が聞ける配慮と、来訪時に職員は家族に積極的な声掛けを行ない、意見、要望を聞いています。運営推進会議においても意見を聞く機会を設けており、事業所の運営に反映させています。家族にはより細かな日常の様子や外出状況を、職員や担当スタッフから手紙や広報誌などで伝えられるように、さらなる工夫が望まれます。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入することで、少しずつ地域と交流する機会が増えていきます。ホームの理念にも含まれており、管理者も職員も地域に根ざすことの重要性を認識していることから、今後は地域の方がホームに気軽に訪問し、利用者との交流の場となったり、災害時の協力支援が求められるように、地域交流の構築を期待します。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業理念として「ゆっくり、楽しく、いっしょに」介護理念として「バリー・ツゥ・ドゥ」（なんでもあり）「地域に密着し利用者様の意向に沿った介護を目指します」2年ほど前に就任した現管理者は、地域に密着することを当然のこととして踏まえ、事業所独自の理念を作りあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングや、日々の研修のなかで理念の意図する想いを管理者から語られ、職員も内容についてそれぞれの思いで自覚している。また、日々のケアサービスにおいても理念の実践に取り組んでいる。		
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入することで地域の協力が得られ少しずつ地域と交流する機会が増えてきている。しかし、近隣住民が気軽に事業所へ来訪するまでには至っていない。	○	ホームの理念にも含まれ、管理者も職員も地域に根ざすことの重要性を認識している。今後は地域の方がホームに気軽に訪問し、利用者との交流の場となったり、災害時の協力が求められるように、地域交流の構築を期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で指摘されている運営理念の構築、家庭的な生活環境作り、日常生活行為の支援、医療健康、運営体制、家族、地域との交流については積極的に改善の努力が図られている。今回の自己評価についても管理者が中心となり取り組みが行なわれている。	○	自己評価や外部評価の結果により、取り組みを期待したい内容について抽出された項目を、評価改善シートなどにまとめ、全職員が参加して検討できるように取り組むことを期待する。

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族代表、町内会長、協力病院関係者、事業所職員を構成員として2ヵ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の案内、事業状況、行事实施状況の報告がなされ、活発な意見交換を行ない事業所のサービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の研修に参加したり、行政上の実務の連携は行なっている。地域包括支援センターの協力もあり、グループホームの集まりの中で情報の提供や共有の場が作られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の金銭出納や日常の様子は面会時に家族に報告し、確認してもらっている。ホーム便り「プランタンⅡ」の発行で一人ひとりの笑顔の写真やイベントへ参加の様子を掲載し配布している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「意見箱」により気軽に声が聞ける配慮と、来訪時に職員は家族に積極的な声掛けを行ない、意見、要望を聞いている。また、運営推進会議においても意見を聞く機会を設けており、事業所の運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限に抑えるよう努めており、異動があった際は職員配置に考慮し利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。		

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、人材育成の重要性を認識しており、外部研修の案内を提示し、自主的参加の推進が行なわれている。受講後の資料は回覧などで職員の資の向上を図っている。管理者が参加した研修も、日常のケアの中で助言やアドバイスをしない育成に役立てている。	○	今後は年間計画を立て、職員一人ひとりの知識や経験に応じた外部研修に参加する機会を設け、働きながら認知症ケアについての知識を深められるよう期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列事業所の職員との合同研修や意見交換を行なっている。また、地域包括支援センター主催で生活圏域内に設置されているグループホームを集めて情報交換の場を作り、交流が深められる取り組みが行なわれている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者本人、家族と面談し、また事業所を見学してからの入居となっている。利用者がすぐに馴染めない場合は、家族に訪してももらったり、職員が入居前の生活場面を振り返るため自宅訪問するなど、利用者が安心して過ごせるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者から教えてもらうことも多く、利用者の知識や経験を活かし協働して生活できるよう場面づくりや声掛けを行なっている。食事の簡単な盛り付けや、味付け、菜園での作付けや水やりなど、ともに生活する場面を大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、利用者との会話や行動、家族からの情報をもとに、一人ひとりの希望や意向を細部にわたり把握するよう努めている。表現できない利用者についても日常の何気ない会話や表情から気持ちを汲み取る努力が行なわれ、利用者本位の生活に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフミーティングで情報交換を行ない本人家族の要望を取り入れ介護計画を作成している。また、家族に利用者の現在の状態を詳しく文書にして説明し、意見、要望を聞き計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に6ヵ月に1回、介護保険認定更新時に介護計画の見直しを行なっている。また、利用者の状態変化に応じて本人、家族と話し合い、医療機関とも相談しながら現状に即した介護計画を作成している。作成後は家族に送付し確認をもらっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制が整っており、協力病院の往診によりホーム内で診察、通院時の送迎など柔軟な支援を行なっている。3階の小規模施設へ利用者の作品を展示したり、歌会イベントに参加するなど交流も盛んに行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望する医療機関への定期的な受診支援を行なっている。また、協力医療機関の往診も行なわれ、受診後の結果については適宜家族に報告し、家族への安心につながっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期に向けての方針は整っており、入居時に家族に説明して同意を得ている。また、利用者の身体状況に変化があった場合はそのつど家族、医療機関を交えて話し合い、方針の共有が図られている。しかし、終末に対する対応指針が作成されていない。	○	今後終末に対する対応指針を定め、家族、医師、看護師を交えて話し合いが適切に行ない、状態の変化について本人の思いや家族の気持ちの変化に対応できるように検討されたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報を他言しないことは遵守事項として認識しており、職員は利用者のプライバシーを損ねることのない対応の徹底を図っている。しかし、個人情報が記載された書類については保管場所は決められているが、適切な対応とはなっていない。	○	職員全員が利用者のプライバシーを損ねない対応の徹底を研修やミーティングで図り、適切な書類の整理や取り扱いについて検討することを期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調やペース、希望を考慮した支援を行なうなど、その人らしい生活となるよう配慮している。		

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力に応じて調理、配膳、後片付けなどを利用者と職員が一緒に行ない、食事を楽しんでいる。また、誕生日や行事の際には利用者の意見を採り入れた献立を作成し、食事が楽しみなものになるような配慮がなされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日の順番は基本的に決めているが、タイミングなど利用者の希望に合わせた入浴支援を行なっている。また、入浴剤を入れるなど気持ちよく入浴できる工夫もされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の下ごしらえや後片付けなどの得意なことを活かした支援や、生活歴を活かした役割、レクリエーションなどの楽しみごとなど、利用者が日々の暮らしに張り合いや喜びを見出せるよう努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	管理者は、外出や外の空気に触れる大切さを十分に理解しており、月1回の外出行事を積極的に計画している。自らバスを運転し買物、外食、観光地見学、温泉入浴に出掛けるなど、外に目を向けた支援を行なっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵を掛けない暮らしの大切さを認識しており、日中は施錠していない。利用者の安全に配慮しながら自由に出入りができるように支援している。		

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署指導のもとで避難訓練を実施したり救急救命訓練を行っており、災害時に備えている。今後も定期的な訓練の継続と避難時の地域協力や緊急連絡体制の整備を検討しているところである。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分量、食事摂取量を個別記録しており、職員は情報を共有している。一人ひとりの嗜好や健康状態を考慮し、栄養バランスにも配慮した献立が組まれている。また、献立は定期的に管理栄養士にカロリー計算してもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広々として明るく季節を感じることでできる装飾が施され憩いの場となっている。気になる匂いもなく、音や光、温度も適宜調節されて、利用者は思い思いの場所で寛がれ居心地のよい空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具、仏壇、装飾品などが持ち込まれており、居心地よく過ごせる工夫がなされている。ホームの構造上、備品や食品を収納する場所がなく日常目に触れるところに置かれており、居室を含めて埃がたまりやすくなっている。	○	備品や在庫品の収納方法や整理の仕方について検討を行ない、日々の清掃についても役割を尊重した利用者の自分の仕事として生活スタイルの工夫をお願いしたい。

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。